

きらら交流館再整備の「基本設計書」が完成しました。

令和9年1月
OPEN
予定

新しい業態の創造「交流館」から「海辺の駅」へ

海辺の駅「そらうみ」誕生

「きらら交流館整備事業」は、国土交通省認定の「道の駅・海の駅」をビジネスモデルとして、従来の宿泊施設から市の新たなレジャー施設への機能転換を図るものです。この施設の目の前には、大きく広がる「空」と「海」の景色があります。どの世代にも分かりやすく、ロケーションの魅力を伝えるためにひらがなで「そらうみ」と名づけられました。

園シティセールス課（☎ 82-1241）

ロゴ・マークデザイン



「日本の夕陽百選」に認定された「きららビーチ焼野」に沈む夕陽をモチーフにして変わりゆく色の変化を“オレンジ”“イエロー”“ブルー”のグラデーションで表現しました。



海辺の駅
そらうみ
山陽小野田

「交流館」から「海辺の駅」へ



消費者に広く認知されている「道の駅」「海の駅」が持つ業態イメージを活用し、当該施設の最大の魅力である様々な海辺財産を生かすために、新たに「海辺の駅」という業態を開発します。

「道の駅」「海の駅」の業態をビジネスモデルとして、「道の駅」「海の駅」の機能を有しながら、自由度の高い公共性のあるレジャー施設の運営を目指します。



【外観】 駐車場南側イメージ



【1階】 ビューラウンジコーナーイメージ



【2階】 アフタースパ休憩室（ビーチサイド）